BUSINESS FRONTIER ビジネスフロンティア Vol.21

株式会社エバーケア

介護負担の大幅軽減を実現するため “新しい排泄ケアの解決策”を提案

介護者にも要介護者にも負担の大きい排泄ケア。この負担を大幅に軽減する自動排泄処理装置「エバケアー」を展開するのが、今回紹介する株式会社エバーケアだ。単なる商品展開に尽力するのではなく、「介護に携わる人たちのために、新しい排泄ケアの解決策を提案したい」と語る同社の取り組みを紹介する。

（写真提供：エバーケア　●撮影：関口宏紀）

自動排泄処理装置「エバケアー」（介護保険適用）。ベッドに寝たまま全自動で排泄処理をしてくれるため、介護者の労力や要介護者の精神的負担を大幅に軽減できる

福嶋久代表取締役

【会社概要】
株式会社エバーケア
東京都千代田区内神田1-7-4
TEL:03-3518-0272
FAX:03-3518-0273
http://www.overcare.co.jp/

痛ましい事件を減らすため介護事業に参入

「今も介護疲れによる心中など、痛ましい事件が後を絶ちません。当社の製品を利用することで、少しでも介護する人、される人の負担を減らしてあげたいというのが一番の願いです」

そう話す株式会社エバーケアの福嶋久社長の名を、覚えている方も少なくないだろう。プロ野球界では強打の捕手として名をなし、しかも娘はプロゴルファーの福嶋晃子というから驚きだ。

そんな福嶋社長が介護事業に参入したのは、2009年4月のことだ。その背景として、「私自身、介護を必要とする年代に少しずつ近づいてくるに従い、介護にまつわるニュースへの関心が高まっていった」と福嶋社長は当時の心境を振り返る。そんな折、自動排泄処理装置「エバケアー」を開発した知人が体を壊し、事業を断念しようとしていたことが、株式会社エバーケア設立のきっかけとなった。

「社名からもわかるとおり、エバケアー普及に力を貸したいと思ったのが始まりでした。介護で一番大変なのは排泄ケアです。エバケアーの機能を初めてみたとき、この製品が普及すれば、痛ましい事件も減るはずだと考えたのです」（福嶋社長）

ベッドに寝たまま全自動で排泄処理

同製品は、「一言でいえば、ウォシュレットがベッドと一体化したもの」と福嶋社長が話すとおり、ベッド上で排泄するとセンサーが感知して即座に吸引、排泄面の水洗からお尻の洗浄・乾燥までを全自動で行ってくれる。介護者のある方にはぜひ実演の様子をみていただきたいが、吸引・水洗はまさにあっという間に行われるので、悪臭が残ることもない。また、エバケアーの装脱着も簡単なため、排泄のリズムに合わせて紙おむつと併用することも可能だ。

「エバケアーを使えば、一日に何回も繰り返されるおむつの交換作業から開放されますし、費用も節約できます。しかし、私たちは決しておむつを否定しているわけではありません。大切なことは、利用者様の状態や環境に応じて、もっとも適切な手段を利用することです。エバケアーは、そのための新しい選択肢といえるでしょう」

同製品の利用者からは「すごく快適」「外出する時間を持てるようになった」などの喜びの声が数多く届いているという。「非常に評判がいい」という普及への手応えを感じているが、一方で「多くの方にきちんと製品特性を理解してもらうため、啓蒙の期間を十分にとらなければいけない」と気を引き締めている。

「当然ですが、使えない方に販売するわけにはいきません。説明員がきちんとうかがい、もちろん試用期間も設けています。当社がめざすのは、“エバケアーの販売”ではなく、あくまで“排泄ケアのよりよい解決策の提案”なのです」（福嶋社長）

排泄ケアの解決を入口に介護の世界を変えていきたい

その言葉どおり、同社では各所で積極的にエバケアーを利用した排泄ケアの啓蒙活動を繰り返しているほか、褥瘡予防につながるマットレスの改良や介護用ウエアの開発など、新製品の開発にも力を入れている。まだ会社設立から1年とあって、理解してもらうための苦労も多いそうだが、福嶋社長が介護事業に懸ける想いには並々ならぬものがある。排泄ケアのソリューション提案を入口に、介護の世界そのものを変えていこうという夢は尽きない。

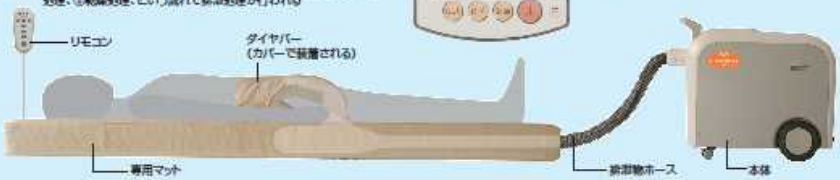
「新しい製品ができれば、それによって仕事がとられてしまうと考える人もいます。でも、機械で軽減化された労力を、それだけ別の介護に回せると考えてほしい。在宅でも施設でも、介護する人と介護される人がともに笑顔で、最期まで一緒にいられる世界を実現できたらいいですね」（福嶋社長）

↑エバケアーを装着したところ。約45度まで体を回転できるため、装着しても自由に寝返りできる。また、15度以上回転するとセンサーが働き動作を中止するなど、安全対策も万全

↑取材にて、エバケアーの驚くべき性能を見せてくれた実演の様子。こうした実演説明会は全国で随時開催しているという。

↑本体に収納されている汚物タンクと洗浄水タンク。汚物廃棄と洗浄水補充までの目安は、便1回、尿4、5回

エバケアーの仕組み図

自動モードと手動モードがあり、自動モードでは、①排泄をセンサーが感知、②排泄物の粉砕、吸引処理、③お尻、ビデ洗浄、④再度吸引処理、⑤乾燥処理、という流れで排泄処理が行われる

←操作パネルにて、水圧や水温、乾燥時間などさまざまな設定が可能。また、大・小それぞれの排泄記録も保存できる